

## ■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値(見込値)
施設におけるがん検診の収益額	百万円	132	127

### 未達成の要因と分析

○政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」決定により、大阪府からの「新型コロナウイルス感染症の感染事例の発生に伴う健康増進事業の実施に係る対応について」（市町村長あて通知）」があり、それを受けて受診中止や受診控えが急増したと推定される。

○「施設におけるがん検診の収益額」については、年間の収益額は前年度を3,687千円上回ったものの、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた2月～3月の収益額は前年度比で3,698千円減したことにより目標額を5,683千円下回った。

（参考）

○年間収益

H30年度：123,728千円

R1年度：127,415千円（H30年度比 3,687千円増）

○2月～3月収益

H30年度：28,235千円

R1年度：24,537千円（H30年度比 3,698千円減）

※R1年度目標：30,220千円（R1年度目標比 5,683千円減）

### 今後の改善方策

○緊急事態宣言解除を受け、検診（健診）実施に当たっては、コロナウイルス感染症対策に適切に対応し実施することにより安全安心をアピールする。（「3密」〈密閉、密集、密接〉を回避することにより受診環境の確保に努める。）

○個別検診の意向のある市町村に対し、積極的な働きかけを行い受託市町村数の増（R1:14市町村→R2:15市町村）に努め、受診者の増加を図る。

○受診枠の拡大、休日検診実施回数増（R1:22回→R2:24回）による受診者の増加を図る。